

CEATEC AWARD 2023 総務大臣賞・ 経済産業大臣賞・デジタル大臣賞・部門賞 決定

特別記事

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA: 代表理事/会長小島 啓二 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長 兼 CEO) は、「CEATEC 2023 (シーテック 2023)」にて展示される技術・製品・サービス等を対象とする「CEATEC AWARD 2023」の総務大臣賞、経済産業大臣賞、デジタル大臣賞ならびに部門賞が決定したと発表。CEATEC AWARD 2023 は Society 5.0 の実現を促し、新たな価値と市場の創造・発展に貢献、関係する産業の活性化に寄与することを目的として実施するもので、CEATEC AWARD 2023 審査委員会による厳正な審査により選出された。

<https://www.ceatec.com/ja/award/>

■ CEATEC 2023 開催規模

・出展者数: 684 社 / 団体 (2022 年実績: 562 社 / 団体)

・新規出展者数: 305 社 / 団体、新規出展者率 45%

・スタートアップ / 大学研究機関出展者数: 153 社 / 団体 (2022 年実績: 81 社 / 団体)

・海外出展者数: 21 か国 / 地域より 195 社 / 団体 (2022 年実績: 27 か国 / 地域より 146 社 / 団体)

CEATEC AWARD 2023 <部門賞>

■ アドバンスドテクノロジー部門

グランプリ: 高品質な GaN 系微小光源を製作するための micro-LED/micro-レーザー用独自基板と新工法 (京セラ株式会社)

準グランプリ: 省電力 AI プロセッサ MN-Core シリーズ (株式会社 Preferred Networks) 「おいしさを見る化」が創る未来の食卓 ~野菜・果物・茶葉などのスマホ等での撮影画像からの AI 解析による食味判定と情報化~ (マクアアメニティ株式会社)

■ デバイス部門

グランプリ: 指先が持つ繊細な感覚を可視化するマルチフィジクス・ナノ触覚センシング (国立大学法人香川大学 JST-CREST)

準グランプリ: ガラス建材一体型 ペロブスカ

イト太陽電池 (パナソニックグループ)

■ コ・クリエイション (共創) 部門

グランプリ: 建設段階のデジタルツイン基盤 CONNECTIA 活用による現場 DX 実現 (株式会社大林組)

準グランプリ: いっしょに考えます、トイレのこと「A-SPEC」(株式会社 LIXIL)

■ スタートアップ部門

グランプリ: エアモビリティ社会を支える小型高性能ポータブルドップラー・ライダー (メトロウエザー株式会社)

準グランプリ: TL-SENSING ~人肌や吐息さえも高速検知。「熱」を可視化して異常現象を 0.01 秒キャッチ~ (TopoLogic 株式会社)

■ グローバル部門

グランプリ: ARC SYSTEM (R2C2 Limited | 香港)

準グランプリ: AI-based wearable solution for a long-term and remote heart monitoring ~遠隔での心臓モニタリングを実現する AI ヘルスケアソリューションの開発~ (Cardiomo | ウクライナ)

<https://dl.nxik.jp/4cfd1ce0-8a6e-415e-8305-56ecfcced378>

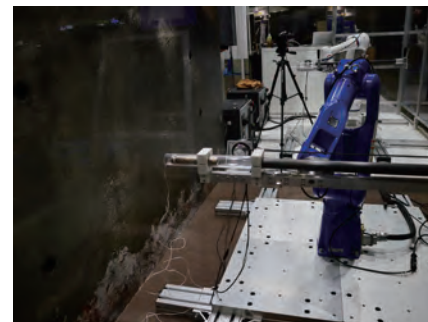
231016 JEITA Press Release_CEATEC AWARD 2023_JP.pdf

CEATEC 2023 公式サイト

https://www.ceatec.com/CEATEC AWARD 2023_JP.pdf

「CEATEC 2023」(会期: 2023 年 10 月 17 日 (火) ~ 20 日 (金) | 会場: 幕張メッセ) が閉幕し、会期 4 日間の登録来場者数は 89,047 人 (前年比 9.1% 増) で、幅広い業種・産業の企業や官公庁、研究機関に所属する方々をはじめ、大学生や高等専門学校生、高校生など、連日 2 万人以上のイノベーターの来場を得た。

次回「CEATEC 2024」は、2024 年 10 月 15 日 (火) から 18 日 (金) の 4 日間、幕張メッセでの開催予定。出展者募集は 2024 年 2 月より開始予定。



慶應義塾大学の野崎貴裕准教授らの研究グループと株式会社大林組は共同で、危険が伴う山岳トンネルの掘削面(切羽)直下での火薬の装填(そくてん)・結線作業を遠隔化・自動化するシステムの開発のデモを行った。

『力触覚伝送を伴う遠隔操作技術を応用した自動火薬装填・結線システムの開発』

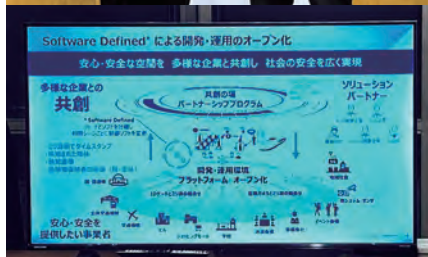
~リアルハプティクス概要と社会実装~

野崎 貴裕 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 准教授 協賛: 大林組

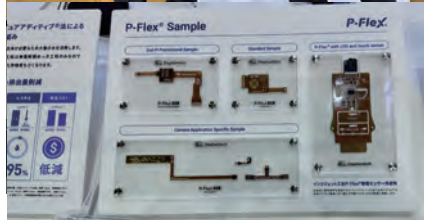
山岳トンネル掘削作業における自動火薬装填システムの開発 - 遠隔で力触覚を再現する技術の応用で、掘削作業の安全性と生産性を向上 -

NEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) の「官民による若手研究者発掘支援事業」の一環で、慶應義塾大学の野崎貴裕准教授らの研究グループと株式会社大林組は共同で、危険が伴う山岳トンネルの掘削面(切羽)直下での火薬の装填(そくてん)・結線作業を遠隔化・自動化するシステムの開発に取り組んでおり、このたび、自動火薬装填システムの開発に成功した。

本システムは、遠隔で力触覚を再現する技術であるリアルハプティクスが活用されており、離れていても火薬の装填を直接行っているかのような作業ができるため、安全が確保される場所から確実に火薬を装填することが可能になる。としている。



■ 総務大臣賞 空間セキュリティマネジメントソリューション (株式会社東芝)



■ 経済産業大臣賞 金属インクジェット印刷技術を用いた環境負荷低減 PCB (エレファンテック株式会社)



■ デジタル大臣賞 世界最小最軽量級のカメラが「働く」を変える。リアルタイム映像 DX ソリューション "Xacti LIVE (ザクティライブ)" (株式会社ザクティ)